

【デュアルシステム科・工業科目】

各教科・科目	学 年 類 型 必履修・選択	標準 単位数	1年次(令和6年度入学生)			2年次(令和5年度入学生)			3年次(令和4年度入学生)		
			必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択	必履修	学校必履修	自由選択
			工業	工業技術基礎	3~4		3 (4)				
課題研究	3~4								3 (4)		
実習	6~12						3 (5)		3 (4)		
製図	2~8			2 (2)							
工業情報数理	2~4			2 (2)							
機械設計	4~8							2 (1) ⑧		2 (1) ⑧	
電気回路	4~6							2 (1) ⑨		2 (1) ⑨	
電気機器	4~6										
電力技術	4~6										
基礎演習	2			2 (2)							
インターンシップ	2			2 (8)							
工業実践基礎	4						4 (4)				
工業実践応用	8						4 (4)		4 (4)		
工業実践発展	4								4 (4)		
機械演習	0~2							2 (1) ⑧			
電気演習	0~2							2 (1) ⑨			
経営マネジメント入門	1							1 (1)			
専門教科・科目単位数計			11			15			17		
総合的な探究の時間			0			0			0		
ホームルーム活動			1			1			1		
生徒一人当たりの履修単位数計			32~37			31~32			30~39		

【デュアルシステム科の習熟度別授業・少人数指導授業等】

<p>習熟度別授業</p>	<p>(1) 1年次「英語コミュニケーションⅠ」(3単位)、2年次、3年次「英語コミュニケーションⅡ」(2単位)は2展開の習熟度別授業。 (2) 1, 2年次の「数学Ⅰ」(2単位)は2展開の習熟度別授業。</p>
<p>少人数指導授業</p>	<p>(1) 言語文化(2単位)は1クラス2展開で実施。 (2) 体育(1年次:3単位、2年次:2単位、3年次:2単位) 1年次:1クラス2展開 2年次:1クラス2展開 3年次:工業科とデュアルシステム科を併せて、2クラス3展開×2+1クラス2展開=8講座 (3) 「働くこと生きること(1単位)」は、ティームティーチング。 (4) 工業:工業技術基礎(4単位)、課題研究(3単位)及び実習科目は、1クラス3~5展開 工業情報数理(2単位(プロダクトのみ3単位))、機械製図(2~3単位)、自動車製図(2単位) 2, 3年次の学校必履修の自動車工学(2単位)、 電気回路(1年3単位)、電気製図(2単位)、電子回路(2単位)、 デザイン製図(2単位)、デザイン実践(2年2単位及び3年2単位)、 デザイン材料(2年2単位及び3年2単位)、は1クラス2展開</p>
<p>備考</p>	<p>(1) 1単位時間は45分とする。 (2) 卒業認定修得単位数は、74単位である。 (3) 2年次より次の「コース」のいずれかを選択する。 ⑧機械コース、⑨電気コース (講座数)の右⑧、⑨は、それぞれのコース別科目であることを指す。 (4) 「情報Ⅰ」(2単位)は、1年「工業情報数理」(2単位)によって代替履修する。 (5) 「総合的な探究の時間」は(3単位)、3年「課題研究」(3単位)によって代替履修する。 (6) ★は在京外国人等対象生徒教科科目。週時程外の放課後に設置する。 (7) 「論理国語」は2年次(2単位)及び3年次(2単位)の4単位、数学Ⅰは1年次(2単位)及び2年次(2単位)の4単位、「英語コミュニケーションⅡ」は2年次(2単位)及び3年次(2単位)をの4単位もって、科目の履修とする。 (8) 論理国語は現代の国語及び言語文化を履修した後に履修させる。 (9) 数学Aを履修する場合は、数学Ⅰと並行してあるいは数学Ⅰを履修した後に履修させる。 (10) 外国語の科目において、Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に履修させる。 (11) 日本語理解については、1年次の修得者に対して日本語検定3級取得には1単位、2級以上取得には2単位の増加単位修得を卒業時に認める。 (12) 特別の教育課程(日本語指導)は指導の対象の生徒のみ実施する。 (13) 自立活動は、通級による指導の対象生徒のみ実施する。</p>